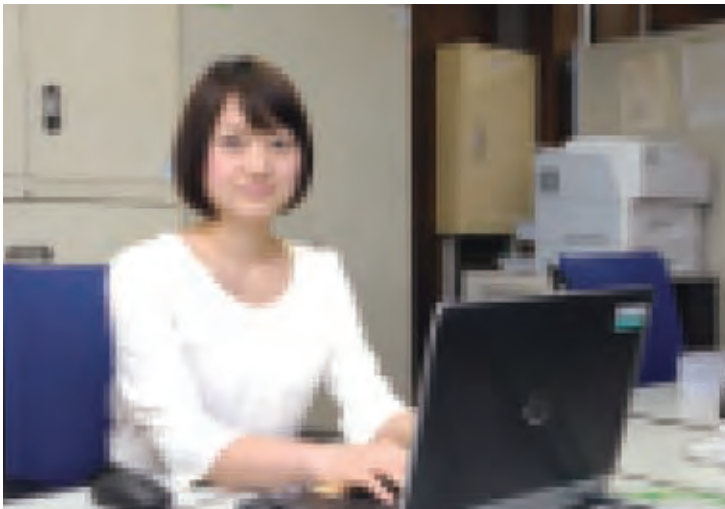


# 統計の国際協力を通して



統計局総務課国際第二係長

中川 友紀子 Nakagawa Yukiko

平成16年4月 総務省採用  
独立行政法人統計センター製表部  
審査課  
平成18年10月 統計局統計調査部消費統計課  
物価統計室  
平成22年4月 内閣府経済社会総合研究所  
景気統計部  
平成23年4月 統計局総務課統計専門職  
平成24年10月 現職

## 国際窓口としての仕事

統計局の国際窓口であるこの部署では、統計関係の国際会議の開催・出席のサポート、諸外国との意見交換や技術支援、海外向け広報や照会への対応などを行っています。

日本の統計は精度が高く、世界に誇れるものとの評価を受けており、統計局は国際協力にも力を入れています。諸外国への技術協力として、東南アジアなどの現地へ専門的知識を持った職員を派遣したり、国内での研修を実施したりしています。また、今後数年間、国際会議を毎年開催していく予定であり、積極的な意見交換や新たな提案を行うことにより、統計分野における国際貢献に取り組んでいます。

国際係は、国内外を問わず、人とのやりとりが多い仕事です。特に国同士のやりとりでは、細やかな配慮やフレキシブルな対応が重要となります。語学力の他にも、調整能力や統計に関する総合的な知識の必要性も痛感しているところであり、毎日が勉強です。

## 結婚・出産後も働きたい職場です

私は一昨年出産し、約1年半の育児休業を取得しました。育児休業中は、夫とともにロンドンで子育てをしていましたが、早く仕事がしたいという気持ちもあり、帰国の翌月には復職しました。省内には、仕事と子育ての両立をされてきた先輩方も多く、復帰することにまったく不安は感じませんでした。仕事と育児で慌ただしくも充実した毎日であり、上司・同僚のご理解をいただける温かい環境に感謝しつつ、勤務を続けています。

## 自らの可能性を広げ、常にスキルアップが可能な環境

子育て中だからといって、仕事が制限されるようなことはありません。現在は、10月開催予定の国際会議の担当をしており、会議場の選定や参加者のためのウェブサイト作成などを行ったところです。学生時代には学んでこなかった統計や国際的な仕事に戸惑うこともありましたが、様々な研修や周囲からの指導を受け、責任ある業務を任されるようになりました。業務を通して自分のスキル向上や成長を実感できる、魅力的な環境です。